

WFPと連携した包括的生産サイクル支援・栄養改善推進事業

【令和5年度予算概算決定額 31（31）百万円】

〈対策のポイント〉

西アフリカ地域において、小規模農家の栄養改善を実現するため、**生産技術及び販売スキル向上のための農業支援並びに栄養に関する基礎的知識の向上を図る啓発活動等を同時に実施**します（学校給食事業との連携を含む）。

〈事業目標〉

- 事業対象コミュニティにおいて、農家グループ等を通じて**米の販売が実施され、小規模農家の収入向上や地産地消の促進に寄与**
- 事業対象コミュニティにおいて、事業終了後に、対象農家の8割が**食品栄養群や日常的に摂取する食物の栄養価など栄養に関する基礎的知識を習得**

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

包括的生産サイクル支援・栄養改善推進 31（31）百万円

飢餓人口が年々増加している西アフリカ地域において、小規模農家の栄養改善を実現するため、国連世界食糧計画（WFP）が有するアセット（支援対象者から買い上げた農産物を支援物資として利用するWFPのスキームや栄養改善に関する知見、西アフリカ農村地域における援助経験と現地のネットワーク等）を活用し、**小規模農家の収入向上や地産地消の促進につながる生産技術や販売スキルを向上させるための農業支援及び栄養に関する基礎的な知識向上を図る啓発活動等を同時に実施**します（学校給食事業との連携を含む）。

〈参考：国連世界食糧計画（WFP）とは〉

- WFPは1961年に設立。2020年ノーベル平和賞受賞。
- 本部はローマにあり、120以上の国・地域で活動する国連機関。
- 日本は世界第8位の拠出国（2021年）。
- 主な活動内容：
 - ・ 自然災害や紛争などにより深刻な食料・栄養不足にある人々への食料配布
 - ・ 成長や教育を目的とした食料支援
 - ・ 労働・職業訓練の対価としての食料支援
 - ・ 小規模農家の生産性向上のための食料支援

〈事業の流れ〉



WFP

- 農業支援
米生産に係る技術研修や販売スキル向上のための研修を実施し、収入向上や地産地消の促進に貢献。WFPの支援物資として生産物を買上げることで当面の販売先を確保。
- 栄養改善
小規模農家が栄養に関する基礎的な知識を習得し日常生活で栄養改善に活かせるよう、農業指導と併せて、啓発活動を行い、**行動変容**を目指す。

拠出

日本

協力

研修の実施

パートナー機関

- ・ 現地政府機関
- ・ 国際機関
- ・ NGO 等

- 農家の収入向上や地産地消の促進への寄与
- 農家による食品栄養群、食物の栄養価等への理解向上

- SDGs達成への寄与（飢餓をゼロに/栄養改善）。
- TICADのフォローアップへの貢献（栄養改善/農業生産性向上/生計向上）。
- 国連食料システムサミット、東京栄養サミットのフォローアップへの貢献。
- 将来的な我が国企業の進出を視野に入れた基盤整備。

【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局 新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 輸出・国際局 国際戦略グループ (03-3502-8498)